

## 「お楽しみ演芸会」取材しました！

チーム名東は、2008年10月31日（金）に名東福祉会館で行われた「お楽しみ演芸会」取材しました。取材者は椋山女学園大学教育学部1年生の松岡彩と串田千菜美です。それでは当日の様子をレポートします！

名東福祉会館での「お楽しみ演芸会」は35年も続く伝統ある催しです。主催者の名東福祉会館の館長の上島さんは、「名東福祉会館では、民踊などの高齢者向けの講座を開き、心身の健康のために活動をしています。このような活動をすることで、高齢者の方々は仲間ができ、居場所ができます。その講座でやっているものの発表の場となるのが、「お楽しみ演芸会」です。発表会があることで、受講者のみなさんはそれに向けてがんばり、熱中します。そして、熱中することで、若さや健康を保つことができ、また生きがいをもつこととなります。また、当日は幼稚園の子達にも来てもらうことで、世代を超えた交流も行います。この発表会に地域の高齢者をお招きすることで、さらに利用者を増やしたいと考えていますのでぜひ宣伝してくださいね！」と今日のこの会の趣旨についてお話ししてくださいました。



琴の演奏を終えた70代の女性にお話を伺うと、「1年間かけてこの日のために練習をしました。毎年ここで演奏していますので。ほかではやりたくないです。ここでやるのが楽しみなんです」とのことでした。ほかの講座を受講している方ともそれぞれ顔見知りのようで、みなさん久しぶりの再会を喜び、話に花が咲いていました。そこに割り込んで取材をするのが申し訳ないくらいです。

出演者のみなさんはみなさんとてもいきいきして人生を楽しんでいるようでした。また高齢者のみなさんの活動を支えるスタッフの方もみな一生懸命な様子でした。このような素敵な会がこれからもずっと続くとよいなあと思いながら会場を後にしました。